

平成 28年度 高松市事務事業評価表 (事中・事後評価)

事務事業名	屋島活性化推進事業		
部 局 名	市民政策局	課(室)名	政策課
		電話番号	087-839-2135

【事業全体概要】まちづくりの目標：人がにぎわい活力あふれるまち

総合計画	政策	魅力あふれる観光・コンベンションの振興		主 体	市	
	施策	地域性豊かな特色ある観光資源の創造		期 間	平成 25年度～平成 27年度	
	基本事業	観光資源の活用と創出		総事業費	141,695	
重点取組項目		重点取組課題 7		特 定 財 源	国	
関連根拠法令等					県	
事業区分		自治事務	種 別	事中・事後	市債	
事業種類		単独			他	
					一 般	141,695

事業の概要
 屋島の貴重な自然や文化財について、触れ、学ぶことができ、あるいはレクリエーションの場となり得る、適切な情報の提供と環境の整備などの屋島活性化策を、平成 25年 1月策定の「屋島活性化基本構想」や、25年 3月に策定した「屋島活性化推進計画」に基づき、計画的かつ効果的に実施することにより、本市の貴重な地域資源である屋島を、世界に誇れる高松市のシンボルとして再生する。

【事業の目的と指標】

対象	屋島及び周辺地域	対象指標名	
		屋島及び周辺地域	
手段	「屋島活性化基本構想」に基づく「屋島活性化推進計画」に記載している取組事業の実施	活動指標名	
		「屋島活性化推進計画」に基づき実施した取組事業数	
意図	「屋島活性化基本構想」に掲げた、具体的施策・事業を計画的かつ効果的に実施する。	成果指標名	
		屋島山上入込客数 ポータルサイトへの年間アクセス数	
結果	屋島を、世界に誇れる高松市のシンボルとして再生する。	効率指標名	
		トータルコスト 10万円当たりの実施事業数	

【指標値および事業費の推移】

指標名	単位	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	目標値	目標年度
対象指標	箇所	1	1	1	1	
活動指標	事業	42	39	40	42	
成果指標	人	421,985	473,995	465,602	700,000	
	件	2,307	26,104	60,547	50,000	
効率指標	事業	0.06	0.09	0.18	0.14	
トータルコスト	[千円]	67,008	43,120	21,677		
(事業費)	[千円]	52,238	28,063	16,303		
(職員人件費)	[千円]	14,770	15,057	5,374		

【環境変化等】

開始時周辺環境(背景)	現状周辺環境	今後周辺環境(予測)	住民意向分析
屋島は、瀬戸内海国立公園並びに史跡天然記念物に指定されており、自然・歴史など多面的な価値があるが、観光客の減少傾向が続いている。一方、近年、廃屋の撤去が進むとともに、「屋嶋城跡城門遺構」が発見されるなど、屋島全体の利活用策が求められている。	屋島活性化のための方策を具体化するものとして、25年 1月に「屋島活性化基本構想」、同年 3月に「屋島活性化推進計画」が策定されている。 27年 3月には、古代山城「屋嶋城」城門が復元された。また、瀬戸内国際芸術祭 2016の作品が展開されている。	「屋島活性化基本構想」に基づいた具体的取組を実施するに当たっては、文化財の観点、環境の観点などから存在する、各種規制に配慮する必要がある。 屋島ドライブウェイの無料化に向けた対応が必要である。	屋島は、地元で愛されている地域資源であることから、「屋島活性化基本構想」の策定に当たっては、説明会やシンポジウムの開催等により、幅広い市民の意見をいただいている。

【妥当性評価】

1. 事業の実施主体として市の関与は妥当か B 現段階では市による実施が妥当である 屋島活性化の持続的な取組のためには、行政だけでなく、市民が主体的に取り組むことや、行政と市民との協働による推進などが望ましいが、現時点では、市が中心となって実施することが妥当である。
2. 事業の上位目標である施策に貢献しているか B 貢献度が中程度 / 義務的事業 本市の貴重な地域資源である屋島の活性化に貢献する事業である。
3. 成果を上げるため、またコストを削減するため、対象あるいは意図（目指す状態）を拡充・縮小する必要があるか A 必要性はない 民間主体の活動となるよう取り組んでいく必要がある。
4. 事業を廃止・休止した場合に影響があるか A 影響は大きい 市長マニフェストにおいて、屋島活性化事業の推進が掲げられているとともに、市民の意見をいただきながら策定した「屋島活性化基本構想」に基づいて実施する事業であり、実施しない場合の影響は大きい。
5. 市民協働の実施状況はどうか（どのような市民参画・市民活動との連携等を実施したか） A 事業のプランづくりの段階からNPO、市民団体が参加している 市民が参画する「魅力ある屋島再生協議会」から意見をいただきながら、屋島関係情報ポータルサイトの構築やパンフレット・マップの作成を実施した。

【有効性評価】

6. 事業の成果（成果指標値）を向上させる余地はあるか B 向上余地が考えられる（中小程度） 屋島の魅力発信について、屋島関係情報ポータルサイト「屋島ナビ」やインターネット検定「屋島検定」の活用など、より効果的な方法を検討する。また、事業主体について、民間主体の活動となるよう取り組んでいく必要がある。
7. 事業執行上の見直しを行ったか（昨年度何か業務の見直しを行ったか） A 実施済み / 実施する必要がなかった 屋島の特性や価値を広く周知するとともに、その活性化と屋島への愛着と誇りを醸成することを目的として、瀬戸内国際芸術祭2016の開幕に合わせて、「屋島検定」をWEB上に公開した。また、PDCAサイクルによる進行管理を行っている。
8. 成果目標値に対する実績値（達成度）はどうだったか D あまり達成できなかった 屋島山上入込客数（シャトルバス利用者を除く）は、横ばいである。一方で、ポータルサイトへのアクセス数は、目標値に達した。

【効率性評価】

9. 成果を達成するための活動量（活動目標値に対する実績値）はどうだったか B 目標どおり達成できた 取組事業については、着手又は完了した。
10. コスト縮減ができたか B 縮減できた 魅力ある屋島再生協議会では、部会を整理するなど、運営方法の見直しを行った。また、パンフレットの増刷についても、事業を見直すなどして、効果があまり高くないと考えられる事業は廃止した。

【一次評価】

評価区分	改善継続														
本市の貴重な資源である屋島の持続性ある活性化のため、MICE振興や屋島山上拠点施設整備等の関連施策と連携して、着実に事業を推進していくことが適当である。															
	改革案	期待効果													
内容	屋島活性化の持続的な取組のためには、MICE振興や屋島山上拠点施設整備等の関連施策と連携して、着実に事業を推進していくことが適当である。また、行政だけでなく、市民が主体的に取り組むことや、行政と市民との協働による推進などが望ましいことから、将来的に屋島の活性化を継続的に担い得る人材の育成に努める。	<p>【特になし】</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td rowspan="2">向上 維持 低下</td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加					
成果	向上 維持 低下	コスト													
		削減	維持	増加											
	阻害要因														

【二次評価】

評価区分	改善継続	
本市の貴重な資源である屋島の持続性ある活性化のため、MICE振興や屋島山上拠点施設整備等の関連施策と連携するとともに、市民との協働により実施することが適当である。		